

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE 京都-新築 (2015年版) | 使用評価ソフト: CASBEE 京都-新築 2015 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)山ノ内マンション	階数	地上7F
建設地	京都府京都市山ノ内区(下野村)第一地区(第一種)24番(第一種)24番の2及び27番(第一種)	構造	RC造
用途地域	準防火地域	平均居住人員	395 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2017年7月7日
敷地面積	3,550 m ²	作成者	長谷川 豊
建築面積	1,760 m ²	確認日	
延床面積	7,987 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★★★★★

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
「変化」と「京都らしさ」が混在する新たな集合住宅の実現を目指します。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
積極的に内装仕上及び天井裏の仕様材料にF☆☆☆☆を採用し、シックハウス対策にも取り組んでいます。	劣化対策等級3を取得予定で住宅の品質確保に努めています。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
太陽光パネルを設置することでノンカーボンの実現に微力ながら貢献しています。	地域産木材の利用に努めます。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される